



多摩市立瓜生小学校

瓜生小だより

令和元年度 第3号
令和元年5月31日

自信をもつためには

校長 吉田 正行

5月25日に実施した運動会では、暑い中多くの方々が子供たちを励まし、応援してくださいました。全校ダンスや未就学児の競技にもすすんで参加していただき、児童・教職員・保護者・地域の方々が一体となった心温まる運動会になりましたことに感謝申し上げます。

また、猛暑の中、校庭への水まきを快くお手伝いいただきありがとうございました。運動会への取組を通して、児童が大きな自信をもち、たくましく成長したことを大変嬉しく思います。

さて、「こんなことにチャレンジしてみたい」「本当はこんなことをしてみたい」「・・・でも、自信がない」そんな人は大勢いるはずで
す。日本は諸外国を比較した際に「自信がある」と答える人の割合が
少ない国だと言われています。

2014年の内閣府の「平成25年度 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（日本、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデンの満13～29歳の男女、各国とも1000人を対象）」では、（同じ調査で）「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組むか」という質問に対して「YES」と答えた人の割合が、他の6カ国の平均が77.2%に対して、日本は52.2%でした。うまくいくかどうかかわからないことにも意欲的に取り組めるか？これは「自信」に大きく影響しているそうです。



心を一つにして取り組んだ5.6年生の演技

自信というのは先天的に生まれもつものだけでなく、後天的に作り出すことができるものです。それは自分でやろうと決めたことが「できた」という経験をした時です。できた物事の大小は問いません。どんなことでも、どんな些細なことでも、自分でやると決めたことが「できた」という経験を積み重ねることで、自信が生まれ、「自己効力感」が高まります。

今回の運動会でも子供たちは、自分が一生懸命練習し、頑張って「できた」という満足感を得る経験をたくさんしました。また、保護者や地域の方々から多くの励ましや称賛をいただき、子供たちは大きな自信をもつことができました。その自信はこれからの学校生活に生きていくと確信しています。ご協力本当にありがとうございました。

せいかつしゅうかん

【生活習慣のふりかえり 5月】

□に各自のふりかえりを記入する

あいさつ へんじ
挨拶・返事

自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。……………

やさしいことば
優しい言葉

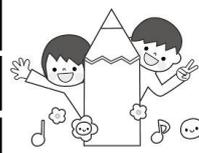
優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。……………

がくしゅう どくしょ
学習・読書

家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。…

しんせつ こうどう
親切な行動

親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。…



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にさせていただきよう願います。